

| 競技種目      | 講評   |
|-----------|--|
| パソコン操作    | <p>今年度は、従来からの傾向である関数を複数組み合わせる表を作成する課題を縮小し、表のデータ内容から一定条件での数値を計算する問題や、ピボットテーブルを利用したデータ分析を主体に出題を行った。一定条件での数値を計算する問題では、複数の解答が考えられるのだが、いかに効率的に、他の誰が見てもすぐ理解できる数式を利用し解答できるかを課題とした。この課題では、普段からExcelを利用して仕事をしている選手と、仕事柄Excelをあまり利用しない選手の間、解答時間の大きな差が発生し、知識のフラッシュアップの重要性を改めて感じる結果となった。</p> <p>ピボットテーブルを利用したデータ分析では、同じデータ範囲で、様々な分析を行ったのだが、効率よくピボットテーブルを変更する方法を習得しているかしていないかで解答の精度に差が出る結果となった。大量のデータを読み解き分析するという、スクリーンリーダー利用者にとってはかなり難度の高い課題を出題したが、競技参加の上位三名は、判断、作業スピード、操作いずれも高レベルで能力を発揮し、実務でも利用できる力を保持していると感じた。他の参加者も、知識としては理解している部分は見て取れたが、それを実践的に利用する部分で努力が必要だと感じた。</p> <p>今後も、パソコン操作競技は、できるだけ実務で使える知識を中心とした課題に取り組んでもらおうと考えている。</p> |
| DTP       | <p>今回のテーマは、より全国大会の課題に近くするために、制作趣旨を考え作成させて頂きました。昨年と同様に課題材料を最小限に絞り、課題作成に取り組んで頂きました。</p> <p>こちらからの情報量を少なくすることで、競技者の皆さんが素材の活用、リード文の作成に頭を悩ませながら、競技に取り組んでおられたのが印象的でした。</p> <p>今回は、キャラクターのPRポスターとなったので、全体的なレイアウトは同じでしたが、個々の個性が出せた作品群に仕上がりが、大変良かったと思います。</p> <p>皆さま本当にお疲れ様でした。</p>   |
| ホームページ    | <p>競技者3名ともに普段のコーディングの成果が素直に制作物に反映していたのではないのでしょうか？作業の早い方はご自身のコーディングスタイルを確立しているように思います。</p> <p>例えば、コーディング技術以外にもイラストレーター、フォトショップ両ソフトの基本的な使い方はもちろんのこと、どの要素を画像として書き出すのか、テキストとして残しておくのかを瞬時に判断し、無駄なく時間を活用しているように思います。</p> <p>コーディングに言えば、レイアウトを瞬時に見て適切なレイアウトを組み構造化する力、どんなデザインが来ても瞬時に対応できるように普段から作業する順番を意識して、取り組まれている印象を受けました。</p> <p>作業にもたつきを感じた方は、効率よく全体の流れを組み立てられるようにご自身のスタイルを見直し、デザインソフトの扱い方やコーディングの順番を確立できるように意識することを日頃の作業から意識することが、無駄なく楽に完成度を上げるコツかもしれません。</p>  |
| 製品パッキング   | <p>今年度はコロナ禍を乗り越えた後の競技大会となり、コロナ前に近い雰囲気で行うことが出来ました。</p> <p>今大会も今までと同じく製品の出来栄と作業スピードに重点をおいた審査で評価をしております。今回入賞した上位3名はスピードもありましたが、箱の組み方や折り方が基本に忠実に出来栄の良い製品を仕上げてくださいました。正しい手順を理解したうえで練習し、競技に挑んでいる感じを受けました。</p> <p>ただ、数名の方が正しい組み方を理解せず、間違えた組み方で製品の出来栄で大きな減点となった選手も数名おられました。製品の組み方と折り方で減点を少なく抑えた選手ほど上位に入ってきております。</p> <p>競技手順書を参考にまずは正しい組み方と折り方を理解していただき、練習を繰り返して出来栄の良い製品が出来るようになり、さらにスピードが付いてくれば今年度以上に良い結果を目指せると信じております。</p> <p>今回参加していただいた選手は今大会の経験を活かしていただき、来年度新たに参加希望の選手は競技内容を正しく理解したうえで参加いただけるとより力を発揮できる競技ですので、今後も多くの選手が参加していただける競技になればと思います。</p>  |
| 販売・物流アシスト | <p>この競技は大阪支部独自のものです、3年目となります。企業で働いている皆さんや、支援学校等の生徒さん12名が参加されました。</p> <p>課題は2つあって、課題1は15分。輪ゴムの計量と小物用袋への封入、フタの貼付け作業で、最大15袋分を作ります。課題2も15分。大会リーフレットと課題1で作った製品を、大きな透明袋に詰めて、販売促進用の配布物を作ります。また、課題1と課題2の競技中には、来客者（模擬）もあり、来られた時とお帰りになる時に挨拶もします。まさに、実際の企業での働く現場を再現したような、ユニークな競技と言えると思います。</p> <p>さて、上位3名の方は、完成品の数や正確さ、競技時間（できた段階で拳手し、タイムを計る）においてハランスよく秀でていました。一方、全体的な傾向として、昨年度同様、製品を封筒に入れる際の向きが違っていたり、袋のフタを貼付けする際に曲がってしまったり、しわが寄ったりした方もおられ、惜しい点数になっていました。これらの注意点は、競技前に説明もしますが、いざ競技になると、焦りも出てしまうのだと思います。</p> <p>なお、競技に取り組む姿勢は、皆さん真摯そのもので、事前説明に対する拳手としての質問も、3人の方からあり、積極性を感じました。選手の皆さん全員のご健闘を祈念して、講評と致します。</p>                          |

| 競技種目       | 講評  |
|------------|---|
| 喫茶サービス     | <p>この競技は、当日にグループを組んだ選手同士が協力しながら、お客様の立場に立った喫茶サービスを行う形式となっています。</p> <p>選手の皆さん各々の個性は違いますが、おもてなしの気持ちは、どなたからも十二分に伝わってきました。一方で、注文を受ける時や、お客様がお帰りになった後の片付けについては、一連のやり取りや作業の流れを、確実に行えたか、また、間違えてしまっても落ち着いてやり直しができたか、といったところで、採点に差がつかれました。</p> <p>上位入賞者の皆さんは、上記のようなポイントを、落ち着いて正確に行えたことに加えて、明るく穏やかな声でのあいさつや落ち着いた動作、お店全体の動き（お客様や他の従業員の動き）を見ながら、優先順位を判断して行動できる力、いつでも率先してサービス提供を行う姿勢等が、特に優れていました。</p> <p>今大会を振り返ってよりよいサービスの提供に向けて経験を重ねていただければと思います。</p>  |
| 表計算        | <p>今回参加された選手の皆様お疲れ様でした。</p> <p>また、表彰された選手の皆様、受賞おめでとうございます。</p> <p>表計算競技は今年度の試験についても「装飾・編集」、「データ処理」、「グラフ作成」、「関数式による表の完成」の4問題を出題いたしました。</p> <p>限られた競技時間の中ですが、どの課題も時間配分を考えてしっかり取り組まれていたように感じました。</p> <p>特に成績上位の方については、難易度の高い問題も高得点を取っておられました。</p> <p>表計算ソフトは、他の業務ソフト同様に様々な職場で使われています。</p> <p>今後も、競技含め表計算ソフトの経験を活かして活躍されることを祈念しております。</p> <p>皆様本当にお疲れ様でした。</p>  |
| パソコンデータ入力  | <p>参加者の皆様、大変お疲れ様でした。</p> <p>今年度も競技委員長を務めさせていただき、皆様の一生懸命な姿と日頃の活躍ぶりを想像することができ、嬉しく感じております。</p> <p>本大会で経験されたことを今後の社会や日常生活に活かしていただければ幸いです。</p> <p>最後に課題1は、年々平均点が下がってきている状況でございます。</p> <p>アンケートの入力数も大事ですが、入力後に見直しをすることを実施してもらえたらと思います。</p> <p>適切に入力することを意識して取り組んでください。</p> <p>今年なかなか力を発揮できなかった方々は、来年の大会でリベンジご参加お待ちしております！</p> <p>今後も皆様のご活躍をお祈り申し上げます。</p>   |
| ワード・プロセッサ  | <p>ワード・プロセッサ競技は、英文ワープロ30分、和文ワープロ60分で行いました。</p> <p>制限時間の違いも大きいとは思いますが、和文ワープロの課題のほうがよく解けていました。</p> <p>また、今年からWordのバージョンが2021に変更になり、戸惑われた方もいらっしゃるかもしれませんが、皆さん最後まで真剣に取り組まれていました。</p> <p>今後の対策としては、入力速度を上げる練習を続けること、特に触れる機会が少なく、制限時間の短い英文の入力に慣れておくこと、また課題の中で使ったことのない機能が出てきた時は、そこは飛ばして、できることから進めていくことが挙げられるように感じました。</p>  |
| ビルクリーニング   | <p>7月1日（土）、梅雨の悪天候の中、ポリテク関西において競技大会が実施されました。参加の選手の方々は日頃の訓練の成果を遺憾なく発揮されて上位入賞者の方々とは紙一重の差であったと思います。見事1位に輝いた選抜者には、今秋予定の全国大会でもきっと優秀な成績を収められる事を願っています。</p> <p>参加の選手の方々に今後期待することは、ビルクリーニング業務は、施設の快適性を維持していくには大変重要な役割であることを理解し、お客様に「安全」で「快適」な環境を提供することを第一とし、お客様の「満足」「信頼」を常に考え、自覚し、「プロ」としての意識をもって、日頃の業務に取り組んでください。</p> <p>今年は、昨年度に比べ上位3名と他の選手との格差が小さくなっている傾向が見られました。上位者はいずれも所属企業が力を入れているのが伺えます。支援学校等と比べ資材もそろっており、指導も経験に基づいた実践的なものであろうし、平均的に必要な動きは全てできていると見られます。しかし、どの選手もパフォーマンスの大変さが気になりました。実際の業務では、このようなパフォーマンスは不自然であると考えられます。</p> <p>あくまで実際の業務を意識し、サービス業であることを念頭に、お客様に満足いただける環境を提供することを意識して、日々の業務、訓練に反映していただければ、更により結果につながると思います。</p> |
| オフィスアシスタント | <p>選手の皆さん、大変お疲れ様でした。オフィスアシスタント競技は、2つの課題があり、課題1の「発送準備」は、書類の選別、A3用紙の折り作業、宛先の確認など、一連の流れの中に複数の注意点が盛り込まれています。また、課題2の「郵便物の仕分け」は、照合力や判断力を要する作業でした。</p> <p>選手の皆さんは、素速く、正確な作業を遂行するために、立位で取り組まれる方も多く、真剣味が伝わってきました。最後まで、最大限に注意力と集中力を発揮されていたと思います。</p> <p>また、終了後はゴミ一つ落ちておらず、丁寧な作業ぶりでした。</p> <p>オフィスアシスタントの競技内容は、職場における必要なスキルでもあるため、さらなるレベルアップを目指して、これからも頑張ってくださいと思います。</p>  |